

伊豆市監査委員 告示第7号

地方自治法第199条第4項の規定に基づき定期監査を実施したので、同条第9項の規定により、監査の結果を次のとおり公表する。

令和2年3月31日

伊豆市監査委員 渡邊 光申
伊豆市監査委員 杉山 謙



記

1. 監査の期日 令和2年2月14日（金）

2. 監査の対象

建設部 用地管理課、都市計画課、上下水道課、建設課

3. 監査の方法

提出された監査資料等に基づき、各担当課の説明を受けた後、事情聴取並びに関係書類の審査を実施した。

4. 監査の結果

監査を実施した範囲においては、事務事業及び予算執行状況は概ね適正に処理されているものと認められた。

5. 監査の概要、意見

対象部課の監査結果の概要及び意見は、次のとおりである。

【建設部】

(1) 用地管理課

- ① 市営住宅維持補修工事では、愛宕団地の外壁改修工事を29,150千円で㈱イズケンと締結、冷川団地の外壁改修工事を14,300千円でむつわ建設と締結、立野団地の外壁改修工事を4,950千円でシンヨウ建設と締結し改修を行っている。これは市営住宅の長寿命化計画に基づくものである。平成30年度の使用料現年度分収納率は97.1パーセント、過年度分では8.6パーセントで、滞納額14,109千円が未払い状態である。低家賃住宅への斡旋等、様々な対応しながら徴収事務を行っているとのことであり、引き続き居住滞納者に対しては、生活状況を見据えながらの徴収事務を行っていただきたい。
- ② 市道管理の状況では、道路台帳補正業務として株式会社東日に情報更新業務（3,190千円）を6路線分委託している。また、伊豆縦貫自動車道関連として、市道雲金宮田線道路用地分筆登記業務（483千円）、西平地区残土処理場市道用地測量業務（1,947千円）を委託している。

- ③ 本年度の道路占用料の現年度分収納率は、1月31日現在で97.7パーセント、過年度分については、0.6パーセントで納付義務者の会社が倒産し、徴収できない収入未済額が発生していて不能欠損処分となるとのこと。河川占用料の現年度分収納率は、92.9パーセント、過年度分は収納なしの状況である。どうしても税金が優先的になり、占用料は後回しになるのは理解するが、現年分の収納率も下がっており、現況を打破する必要があります。税務の徴収の手法を参考にし、占用料の収納に一工夫していただき、この状況から脱却していただきたい。
- ④ 伊豆縦貫自動車道等関連事業では、平成30年度に供用開始された天城北道路の残工事について、国土交通省と協力し事業を推進していく。今年度は、測量設計委託料(483千円)、市道雲金宮田線道路拡幅工事に伴う土地購入費(1,283千円)、関係5団体への負担金、交付金(556千円)を執行している。
- ⑤ 地籍調査は、計画地区の全行程を3年サイクルで行っている。本年度は、補助金分として熊坂(VI)、瓜生野(I・II)の修善寺地区0.27km²を委託料11,935千円で協和コンサルタント株式会社が、冷川(I~III)の中伊豆地区0.83km²を委託料18,040千円で東静測量設計株式会社が、八木沢(I~III)の土肥地区0.47km²を委託料14,685千円で株式会社東日が調査事務を請け負っている。本年度の調査面積は0.64km²、全体の進捗面積は25.26km²で、平坦地における進捗面積の比率は73.66%、全体面積に対しては8.97%となっているとの説明を受けた。土肥地区の進捗率1.80%で昨年よりも上がったが、全体的にまだ低いと計画的にバランスをもって進めていただきたい。
- また、他県の進捗具合に気を留めて、著しく後れをとることの無いよう、注視願います。

(2) 都市計画課

- ① 都市計画推進事業では、修善寺地区以外の3地区(土肥、天城湯ヶ島、中伊豆)の都市計画区域拡大に伴う関係機関との協議のための基礎資料を作成(業務委託4,950千円)し、また伊豆市都市計画マスタープランを策定(業務委託令和元年度3,000千円)している。昨年度末、牧之郷地区計画が都市計画決定された。地区計画の目標は、良好な住環境の保全と安全な歩行者空間の創出により、鉄道駅の利便性を活かし安全で快適な住宅地域を形成することを目指している。牧之郷地区計画等策定支援業務委託(1,350千円)により、周知のためのパンフレットを作成している。また伊豆縦貫道の南進が計画される湯ヶ島IC周辺の計画として、伊豆縦貫道湯ヶ島周辺土地利用基本計画案策定業務委託(4,917千円)も締結している。期待度の高い伊豆市都市計画マスタープランがスケジュール通りに遂行され、スピード感を持って進んでいくことを強く期待します。
- ② 景観まちづくり重点地区に指定した修善寺温泉・桂谷地区の景観まちづくり計画では地元住民が中心となった活動として、修善寺から奥の院までの道路沿いにナノハナの種まきを実施している。湯ヶ島地区については、「湯ヶ島地区の景観まちづくり計画」の中で景観まちづくりの方針として、①「しろばんば」の舞台となった文学と歴史の景観を守り育てる、②温泉街を回避する湯道周辺の景観を守り育てる、③熊野山周辺の里山の景観を守り

育てる、④景観資源の保全・活用と周遊性の向上によりにぎわいを創出するの4点を掲げている。パブリックコメント終了後、景観審議会において2か所目の景観まちづくり重点地区に指定されるとのこと。景観まちづくり活動が住環境を向上させ、住む人の人格や品格を磨き、住み易さを提供し、自治能力強化の基となる。景観重点地区となった、市で2か所目となる「湯ヶ島文学の郷」「湯ヶ島温泉場」を、理念に囚われることなく、日常の市民生活の中に自然と受け入れることのできる政策として力を入れてもらいたい。

③ 屋外広告物事業では、静岡県屋外広告物条例により屋外広告物の特別規制区域、普通規制区域、広告景観保全区域がある。国道136号バイパス修善寺道路や伊豆縦貫自動車道天城北道路などは特別規制区域の基準に更に上乘せされた厳しい基準の広告景観保全区域となっている。現在、伊豆半島域で違反広告物の是正に取り組んでおり伊豆市内で違反している野立て看板数423件(平成29年12月調査時点)は、本年12月末で79件(進捗率81.3%)へと減少している。東京2020オリンピック・パラリンピック大会までに違反広告物をなくすことを目標に掲げ、あと一息のところまで来ている。全国、全世界から来るお客様に景観の素晴らしい伊豆市を満喫してもらうためにも、この目標をぜひとも達成していただきたい。

④ 修善寺駅及び駅北広場等では、駅構内、駅西口広場、南・北広場、駅北駐車場の維持管理を市が行っている。駅トイレ清掃(毎日午前1回・午後2回)、駅構内清掃(毎日午前1回・午後1回)を(有)伊豆クリーンサービスに清掃業務として委託(4,530千円)している。

駅北広場駐車場は管理システムをユニバーサル商事㈱に委託(2,490千円)し、駐車料金の清算・出金、利用の管理等を行っている。利用状況は次のとおりである。

(単位：台数、円)

年度	上段駐車場			下段駐車場			北口広場(上下段)駐車場 計			
	無料 台数	有料 台数	計	無料 台数	有料 台数	計	無料 台数	有料 台数	計	利用 料金
H29	20,765	5,044	25,809	4,333	3,312	7,645	25,098	8,356	33,454	3,714,000
H30	19,703	4,876	24,579	4,717	3,452	8,169	24,420	8,328	32,748	3,610,600
R元	13,812	3,445	17,257	3,061	2,336	5,397	16,873	5,781	22,654	2,471,300

※ R2年度は、11月分までの累計

(3) 上下水道課

① 水道管の布設工事では、簡易水道事業は1)本柿木配水管布設替工事(契約金額15,870千円)、2)八木沢配水管布設替工事(契約金額8,209千円)の2箇所を施工し、上水道事業では1)月ヶ瀬配水管布設替工事(契約金額5,785千円)、2)上和田地区配水管布設替工事(契約金額11,106千円)、3)年川地区配水管布設替工事(契約金額28,392千円)、4)城配水管布設替工事(契約金額6,655千円)、5)年川送水管布設替工事(契約金額26,510千円)、6)貴僧坊送水管布設替工事(契約金額7,590千円)、7)貴僧坊送水管布設替工事(No.2)(契約金額5,962千円)、8)修善寺地区テレメータ装置等更新工事(契約金額82,280千円)、9)西平減圧弁設置工事(契約金額28,820千円)の施工を確認した。水道水の供給は、市民生

活の上で必要不可欠なものである。計画的な水道管布設等工事を実施し、漏水による断水等が減少していくことを希望します。

- ② 下水道事業の管渠布設工事では、繰越明許による 1) 大平地区第 2 工区 (令和元年分 契約金額 27,769 千円)、2) 大平地区第 3 工区 (契約金額 74,665 千円)、3) マンホール内ポンプ設置工事 (契約金額 11,192 千円) と 1) 大平地区第 1 工区 (契約金額 105,050 千円)、1) 大平地区第 2 工区 (契約金額 46,200 千円)、1) 大平地区第 3 工区 (契約金額 47,300 千円)、4) マンホール内ポンプ設置工事 (契約金額 20,350 千円) の内容を確認した。
- ③ 上下水道料金徴収業務は、㈱ヴェオリアジェネッツに徴収業務を含めた受付業務等を 68,332 千円で委託している。現年度の収納率は次のとおりである。

収納率	上水道	簡易水道	温泉	下水道	農業集落排水
H29 年度	97.58%	98.30%	88.83%	98.89%	97.79%
H30 年度	97.86%	98.79%	88.18%	91.95%	88.08%
R 元年度	96.93%	94.45%	85.36%	97.07%	98.64%

※ R 元年度については、水道・簡水・温泉は 12 月まで、下水、集排は 11 月までのデータ
下水道と農業集落排水の H30 年度の収納率が下がっている要因は、令和元年度から企業会計となったことに伴い、平成 30 年度の調定 12 月分に対し収入 11 月分のためによる。受付業務のお客さまセンター業務量では、平成 30 年度からコール件数、異動件数、窓口受付件数ともほぼ前年度件数と横並びになってきている。

水道修繕調査等業務委託では、伊豆市上下水道協同組合に市内水道の漏水事故等の受付・相談窓口、現場確認及び漏水調査、漏水修繕業務を 40,321 千円で委託し、上水スタッフ業務量の負担軽減となっている。また、料金の値上げは避けてとおれない事象であり、経営戦略の中で審議していくとのこと。市民の理解を得られるよう丁寧な説明をお願いしたい。

(4) 建設課

- ① 本年度の県単独治山(補助)事業は入ノ洞治山工事(柳瀬)と、田子野山工事(大平柿木)を予定していたが田子野山工事は採択されなかったため入ノ洞治山工事(契約金額 11,990 千円) 1 件を実施し、既に 11 月に完了したことを確認した。
- ② 市道整備事業では、防災・安全交付金事業(補助率 55%)として市道越路嵐山線(御幸橋)下部工工事他 6 橋梁の修繕工事内容の説明を受けた。今後も長寿命化計画の中で毎年の予算枠規模で改修を継続していくとのこと。東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に向けたベロドロームに向かう市道大野中ノ沢線改良工事(1・2 工区)及び舗装工事の他、市道駅前柏久保線、市道さくら大通線、市道出口平石線、姥金日深沢日陰線、市道大平柿木線、市道日向小川山田線及び市道中野線の舗装工事の内容の説明を受け確認した。
- ③ 本年度の急傾斜地崩壊対策事業については、土肥の駿豆学園裏の大久保 No. 3 急傾斜地崩壊対策工事(19,690 千円)の 1 箇所を実施している。国の補助決定により着手しており、年間 2,000 千円程度の補助金額のあるため、工事の総延長 132m に対し 1 年に 10m 程度し

が進まない。市内3箇所の指定促進事業業務委託をしていることも要因となっている。現在、市内で県営急傾斜地崩壊対策事業が瓜生野横瀬間、天城地区、大下、牧之郷（用地買収）で実施されている。急傾斜地の工事規模により県営工事か市工事かが判断され、県営工事の場合は、5～10%の負担金を負担して県にお願いしているとのこと。

